

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 規則について

- (1) 本大会は2014年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項・申し合わせ事項を適用するが、児童であることを考慮して教育的配慮のもとに行う。

## 2. 競技者受付について

- (1) 当日受付にて、ナンバーカードとプログラムを配布する。ナンバーカードは、競技を行う際に着用するTシャツ等の胸と背に、そのままの大きさを四隅を安全ピンでとめる（全種目）。
- (2) トラック競技出場者には、招集時に腰ナンバーカード（写真判定のために使用）を貸与する。（リレーは第4走者のみ）右腰やや後ろに取り付ける。競技終了後フィニッシュライン付近の箱に返却する。

## 3. 招集について

- (1) 選手招集は、トラック競技・フィールド競技ともに、100mスタート地点横で行う。
- (2) 招集時刻は、その競技の開始時刻を基準として、下記のように行う。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	予選(1~8組)	30分前
	(9組~)	20分前
	予選のない決勝(タイムレース)	30分前
	決 勝	20分前
フィールド	決 勝	40分前
		30分前

- (3) 代理人による招集は一切認めない。ただし、同時に2種目出場する場合は、事前にその旨を競技者係に申し出て競技に参加する。
- (4) リレー競技に出場するチームは、**招集完了時刻60分前までに**オーダー用紙を競技者係へ提出する。（オーダー用紙は招集所で競技者係から受け取る）遅れた場合は競技に出場できない。
- (5) 招集に遅れた場合は競技に出場できないので、時刻を厳守する。
- (6) 招集場所へは、競技に出場する際のナンバーカードをつけたTシャツ等を着用し集合する。

## 4. 競技方法について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及びレーン順は本部において公正に抽選し決定する。発表は掲示による。
- (3) スパイクシューズを使用することができるが、スパイクのピンは全種目全天候性走路用9mm以下を使用する。
- (4) 50m、60m、100m、60mH、80mH、4×100mR第1走者のスタートはクラウチングスタートでもスタンディングスタートでも構わない。スターティングブロックは男女とも5年生、6年生100mの決勝のみ使用できる。使用する場合はセッティングを速やかに行う。  
スターターの発声は英語で行う(1年生、2年生は日本語)。

位置について=On your marks 用意=Set

\* スタートに関するルールは全国大会に準じる。

同一人が2回不正スタートした場合は失格とする。 ただし競技には参加させ記録は参考記録とする。
---

- (5) ハードル競技は以下の規格により行う。

種 目	スタート~第1ハードル	高 さ	インターバル	台数	最終ハードル~フィニッシュ
60mH	12m	60cm	6m	7台	12m
80mH	13m	70cm	7m	9台	11m

- (6) 800m以外のトラック競技の場合、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走り、他のレーンに入らない。
- (7) 800mのスタートは、オープンで行う。

- (8) リレーのメンバー編成は申込時のメンバーで編成する(競技規則第170条10は摘要しない)。
- (9) リレーにおける第1, 第2, 第3走者はテークオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまる。その後競技役員の指示により走路外に出る(危険防止のため)。テークオーバーゾーン手前10m以内からの助走は認める。マークは各チームで用意し、レース後、前走者が必ず取り外す。
- (10) 男女とも800m、60mH、80mH、4×100mRは決勝のみとし、タイムレースで順位を決定する。男女とも1年50m、2年50m、3年60m、4年60m、5年100m、6年100mは予選の上位記録8名を決勝進出者とする。同記録がありレーンが不足するときは、抽選を行う(同じ組の場合は順位を優先する)。
- (11) 走高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子5年、6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後最後の1人になるまで5cmきざみ
女子5年、6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後最後の1人になるまで5cmきざみ

- (12) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。
- (13) 5年、6年走高跳の第1位決定のためのバーの上げ下げは2cmとする。
- (14) 走幅跳、投てき競技は3回の試技で順位を決定する。
- (15) 投てき競技はやり投ピットで行い、投てき角度はやり投と同じとする。助走距離は15m以内でスパイクを使用してもよい。
- (16) 投てき競技は、各競技者とも**連続3回の試技**を行う。
- (17) 競技会で使用する(練習も含む)用器具は主催者が用意したものを使用する。

## 5. 練習について

練習は第2コーナー出口外の練習場もしくは15:50まではバックストレートが使用できる。指導者が必ずつき、安全に行い、逆送したり走路にとどまったりしないこと。

## 6. 抗議について

抗議はチームの公式な代表者から口頭で担当総務員に申し出る。それは該当種目の結果の正式な発表後30分以内に行われなければならない。ただし、次のラウンドが行われる競技では、結果の正式な発表後15分以内に行われなければならない。

## 7. 表彰について

各種目1位～8位に賞状を授与するので、メインスタンド下中央に集合する(競技終了後おおむね30分後)。

## 8. 競技場使用規定(競技場使用上の注意)

- (1) 競技場は、大切にきれいに使用する。
- (2) グラウンド内は、運動靴又はスパイクシューズを使用する。また、グラウンド以外(スタンド・ダッグアウト・本部・アスファルト舗装面等)は、スパイクシューズの使用を禁止する。
- (3) ゴミは各自持ち帰る。また、競技場近辺やコンビニ、駅等に捨てていかない。

## 9. その他

- (1) 競技中の事故については、主催者が応急処置を行うが、責任は負わない。
- (2) 貴重品等は各自・各チームにて管理し、盗難・置き引き等に十分注意する。
- (3) 記録証は希望者に1枚300円で発行するので大会本部に申し出る。
- (4) 更衣室へは私物は置かないこと。また選手の待機場所として使用しないこと。
- (5) 競技運営システムに支障をきたすことがあるので、競技場内及び競技場周辺でのゲーム機の使用は控える。
- (6) 大会運営、競技に関する不明な点は大会総務に問い合わせる。

プログラムに記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属)等があった場合は9時00分(遅くとも出場する競技の1時間前)までに本部へ申し出る。競技終了後の訂正(賞状及び記録証の訂正を含む)は認めない。 \*申込データをそのまま使用しています。